

マーケットの動き (2021年6月7日～6月11日)

先週の米国株式市場は、前週末比でS&P500種株価指数が上昇した一方、NYダウは下落しました。10日に公開された米国CPI（消費者物価指数）はインフレ加速を浮き彫りにする内容であったものの、物価上昇は一時的との見方から米国長期金利が低下したことを受けて、グロース株に買いが入り景気敏感株は売りに押される展開となりました。

欧州株式市場は、10日に開催されたECB（欧州中央銀行）理事会を受け、金融緩和の長期化観測が強まり、おおむね米国に連動した推移となりました。

投資環境見通し (2021年6月)

米国は上値の重い展開、欧州は緩やかに上昇

米国：政府による大規模な財政出動や、FRBによる大胆な金融緩和政策といった経済活動正常化に向けた動きを背景に、企業業績も回復基調が続くとみえています。ただし、これまでの相場上昇局面で好材料はすでに織り込まれたとみられること、労働市場や半導体の供給制約が意識されていることに加え、FRBの量的緩和政策縮小への思惑などもあり、当面の株式相場は上値の重い展開が予想されます。

欧州：米国市場の影響を受けつつも、欧州地域の経済活動再開の動きに加え、世界景気回復の恩恵を受けつつ、株式相場が緩やかに上昇するとみえています。

	6月11日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,247.44	0.41%	2.30%	15.94%	41.48%
NYダウ	34,479.60	▲0.80%	0.61%	14.75%	37.21%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202106_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2020年5月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成